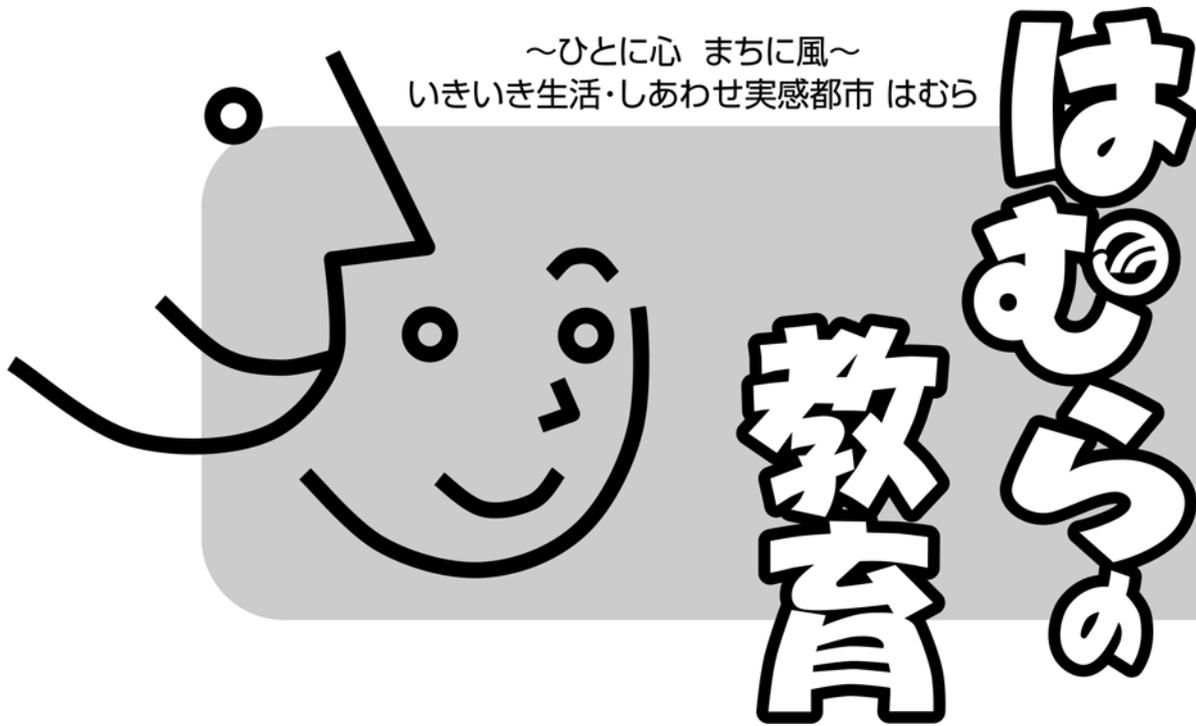


～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



東京都駅伝競走大会優勝

羽村第一中学校陸上部



平成 19 年 11 月 10 日 (土) に板橋区で開催された、第 60 回東京都中学校駅伝競走大会で、羽村第一中学校陸上部が、強豪チームを抑え優勝しました。

特集・学校給食

羽村の学校給食は今……



必要な栄養が十分取れていない子どもが見受けられます。学校給食は児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた食事を提供することで、健康の増進、体力の向上を図るほか、望ましい食習慣を身につけることなどを目的に実施しています。

平成19年は、食品の安全や給食費の未納問題がニュースで取りざたされた1年でした。

食育基本法が施行され、学校における食育の推進が求められています。が、不規則な食生活や偏った食事で、

ついて関心が高まっていることから、羽村の学校給食の1日を取材しました。(11月27日)

羽村の学校給食は、羽村・瑞穂地区学校給食センターで作られています。

ここでは、羽村市と瑞穂町の小学校分、合計8640食(第1センターは小学生分5845食・第2センターは中学生分2795食)を毎日作っています。

給食センターでは、成長期の子ども達に、どんな給食を提供したいと考えているのでしょうか。

献立を考える

給食の献立を考えるのは、栄養士の仕事。献立担当が順番に1か月分の献立を考えます。

今月の小学校の献立担当は栄養士の内田さんです。

「献立を考えるとき、栄養価やバランスを考慮するのはもちろんですが、それに加えて、現代の家庭で食べる機会の少ないものを敢えて取り入れたり、なるべく多くの種類の食材を使うような工夫をしています。」

例えば切干大根、ひじきなど、見た目は地味でも栄養価も高いものが多い、昔ながらの食材を給食に取り入れれば、日本の食文化を子ども達

学校給食の1日



食材の搬入(毎朝届きます)

食材の検品

調理開始(下処理)

コラム①

●栄養士より（最近気になることなど）



栄養士の内田さん

最近、子どもが、しっかり味がついたものでないと食べられなくなっている傾向が見えてちょっと心配です。昔はおかずと白いご飯で食べましたが、今はご飯はご飯だけ、おかずはおかずだけで食べる。だから、ご飯にふりかけが必要だったりします。今の子は、工夫して食べることが苦手なようですね。

給食の時間に学校を訪問して、栄養と健康のことや、給食メニュー、食材についてお話をすることがあります。子ども達は真剣に話を聞き、給食もよく食べてくれるので、食についての関心を高める効果はあると思います。特に冬の時期は地場野菜導入のPRもして、興味を持ってもらっています。

最近、食育に関心が高まっているせいか、ゲストティーチャーとして学校の授業に呼ばれることも多くなりました。栄養士としては、子どもの健康と栄養について理解してもらおう機会が増えることは望ましいです。その他にも、お子さんに配っている献立表に、今月のメニューのポイントや注目してほしい点、健康についての情報などを載せているので、ご家庭でも見て、親子で話題にしていただけると嬉しいですね。

に実際に感じてもらおう良い機会になります。
「味付けの基本は、薄味であること。よく噛んで食べればそれぞれの素材の味があるので、なるべくそれを味わってもらいたいですね。また、一食の中での味の組み合わせにも気をつけています。」

う具合に、味にバリエーションを持たせています。食材は無添加のものや、国産品をなるべく使うようにしています。」
取材当日の献立の特徴について、内田さんに尋ねました。
「今日は和食です。ご飯に、ふりかけ、牛乳、鮭の塩焼き、さつま汁、いもがらの五目煮。実は、いもがらは給食では初めて使う食材なんです。」



本日の給食です

いもがらは、家庭でも最近はないかなが使わない食材です。これまでの経験から、子どもになじみのない献立は、残さい（給食の残り）の量も多くなることが分かっています。近頃は家庭で洋食が増えてるので、献立が和食だと残さいが多めとか。給食センターとしては、残さいは少なくしたいけれど、かつて日本の食卓を飾った様々な食材を、現在の子どもにも味わってもらえるよう、敢えてチャレンジしたい、と内田さんは言います。
「例えばひじきなどは、家庭で食べたことがないと、色が真っ黒なこともあって子どもは口に入れにくい」



学校に到着
(冷めないように配達)



給食センターを出発



調理中
(8,640食分、たくさん作ります)

ようです。でも学校だと、友達が食べたり応援してくれたりするの
で、新しい食材を口にしやすい。学
校の給食をきっかけに、家庭でも食
べるようになった例もあります。確
かに残さいの量も気になります。確
それを気にして人気メニューばかり
出すのではなく、栄養士としてしっ
かり考えて献立を立てたいと思っ
ています。」

食材を選ぶ



新鮮な地場野菜

毎朝、給食センターに、業者や地
元の農家の方が納品に來ます。給食
センターでは数や種類に間違いがな
いか検品して受け入れます。
給食には地場野菜が取り入れられ

ています。冬場は大根とにんじん、
長ネギ、白菜は羽村市で、キャベツ
は瑞穂町でとれたものを主に使っ
ています。

「身近でとれた野菜を使うことで、
子どもに食に対する興味を持っても
らいたい。また食材としても、直接
農家から買うととても新鮮なので、
よりおいしく食べてもらえると思っ
ます。」

と給食センターの関谷係長。その土
地の気候風土に合わせて作った作物
をそこに住む人が食べる、というの
は、健康を考える上でも理に叶っ
ているといえます。

今日の納品に來た農家の宮川さん
は「給食にうちの野菜を使ってもら
えて嬉しい。子ども達に、近くでこ
んなにおいしい野菜がとれるんだと
いうことを知ってもらいたいです
ね。」と話してくれました。

調理する

実際に給食を調理するのは調理員
の皆さん。事前に栄養士と手順や調



理方法を相談し、手際よく作業を進
めます。調理の際には、食品に完全
に火を通すなど安全性にも気を配っ
ています。

衛生面では、食材を変えることに
手を洗い、前掛けや器具類も調理段
階に応じて専用のものを使用してい
ます。卵用の前掛けは使い捨てのも
のを使用しています。調理室に入る
前には、爪ブラシを使い入念に手を
洗い、自分で見えない背中のゴミも、
ローラーを使ってお互いに取り合っ
ています。調理台はアルコールで拭
いてから使用し、週に2回は塩素消
毒しています。また、最近ではドライ
運用が導入され、床面に水分をこぼ
さないように、「ゴミが落ちたらすぐ



クラスで給食(いただきます)



食器や残さいが戻ってくる
(明日の準備も)



残さいはリサイクルされます

給食を食べる

給食の配膳の準備をする子ども達

調理員の嶋田さん栗原さんは、子ども達にお願いがあると言います。

「栄養士と協力して、バランスの取れたおいしくて安全な給食を子どもに届けたいと思って努力しています。子ども達には、どんなものが出て、見たことのないものでも、一口は食べてみてほしいですね。食わず嫌いではなく、ぜひチャレンジして、色々なものを食べてみてほしいです。」

多くの大人たちの思いをのせて給食が作られています。



調理員の栗原さんと嶋田さん

食器や残さいが返ってくる

子ども達の給食が終わり、給食セ

は、どの子も楽しそうです。

手際よく配る子、友達の分も用意する子、配膳台の前に並び、授業中とは違った開放感が見られます。

今も昔も、子ども達にとって給食は楽しい時間のようです。聞いてみると、給食をおいしく食べていると答える子がほとんど。嫌いなものが出て我慢して食べる、という子もいました。おかずとご飯を別々に食べている子が目立ちましたが、今日の給食もおいしいと答える子が多く、全体的に元氣よく食べていたようです。



羽村・瑞穂地区学校給食センター

コラム②

●かわらばん（給食費について）

日本の学校給食の歴史をひも解くと、明治22年までさかのぼります。当時、家庭が貧しく十分に食事ができなかった子どもが多かったことから、せめて昼食を学校で食べさせてあげようと、おにぎりなどを無料で出したのがはじまりと言われています。

さて、給食費の未納が全国で問題となっております。

文部科学省が平成17年度について全国調査をしたところ、未納総額が22億円にのぼることが明らかになりました。

では、給食費はどのように支払わなければならないのでしょうか。

学校給食法で、学校設置者は子どもたちが健康に育つよう義務教育の学校ではできるだけ給食を提供するよう努めなければならないと定められています。

給食を作るのは、たくさんのお金がかかります。給食のメニューを考える栄養士や調理を行う調理員等の人件費、調理に必要な設備や光熱水費は市町村が負担し、子どもたちの口に入る米やパン、肉や野菜などの材料を買うお金は、保護者が支払うと決められています。

給食費の未納が増えると給食の食材費が不足し、肉や野菜などの量や質を落として給食を作らねばなりません。学校給食の制度自体の崩壊にもつながります。

保護者の皆さん、もう一度学校給食について考えてみてください。

ンターでは、返って来た食器を洗い、明日の準備をします。残さいはリサイクルされ、肥料になります。

気になる今日の残さいは、少々多めでした。でも、新しい食材「いもがら」を口にした子どもも多かったはず。給食センターではこれからも、子ども達の食生活を豊かにしていく挑戦が続けます。

図書館電算システムが 新しくなりました

11月5日(月)～19日(月)

蔵書点検期間中に図書館電算システムの入替を行い、システムと機器が新しくなりました。利用者の皆様にはご不便をおかけしましたが、蔵書点検とシステムの入替を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

今までのシステムから便利になったところを何点か挙げてみますと……

- ①利用者検索機の検索で、今までは全ての資料が出てしまい、借りられる資料を探すのが大変とのこと意見を取り入れ、自館所蔵と全館所蔵に絞り込んだ検索が可能になりました。
- ②返却日を延期するためには、資料を窓口までお持ちいただき、お借り、不便とのこと意見をいただいています。新しいシステムでは、ホームページ、



- 利用者検索機からも延期の操作が可能となりました。お電話や窓口で資料がなくても延期ができるようになりました。延期については今までと同じくリクエストがない場合に1回までとさせていただきます。
- ③各処理速度がより速くなりました。検索や貸出返却の作業がスムーズに行なえます。
- ④機器の入替に合わせて、インターネット検索用のパソコンを入れ替えました。快適にインターネットでの調べ物ができるようになりました。

●問合せ 図書館

本が泣いています



飲食物等で汚れた本

図書館は11月5日から19日まで休館し、蔵書点検を行いました。これは、不明になっている資料がないか、資料の汚損や破損はないかなど1冊1冊点検を行うものです。

その結果、不明となった図書が二七一点、CDなどの視聴覚資料が五二点ありました。これは昨年と比較すると、四五一点減少しており、今年度BDS(無断持ち出し確認装置)を入替えたことと、ご利用されているみなさまのモラルの高さも

関係していると考えており、ありがたいことと感じております。その一方、写真のように水ぬれや飲食物による汚れ本がそのまま返却されたり、頁の切り抜き・線引きなどの落書きはいつでもに後を絶ちません。「公共のものには自分達の税金で買ったもの。どのように使っても……」とお考えの方がいらつしやるのでしょうか? いえいえ、みなさまの税金で購入したものだからこそ、大切に使用していただきたいのです。

昭和48年開館以来から多くの資料を購入し、現在32万冊あまりを所蔵しています。これは、これから30年40年と守り続けなければならないみなさまの財産です。多くの方が気持ちよく利用できるように、1冊1冊丁寧に扱っていただきますようお願いいたします。

●問合せ 図書館

「文化財防火デーと市内の文化財（羽村市指定文化財3）」

この紙面で市内の文化財についての紹介をはじめて1年が過ぎました。第1回目は、毎年1月26日が「文化財防火デー」であることから、そのいきさつを詳しく紹介させていただきました。それから思いのほか多くの国指定文化財があること、東京都指定文化財や羽村市指定文化財について4回にわたりご紹介しました。今回は羽村市指定の民俗文化財についてです。

羽村市指定有形民俗文化財として指定されているものは、「八雲神社の山車」と「阿蘇神社の神輿」があります。「八雲神社の山車」は、大正8年に砂川一番組から購入した本町の山車です。建立は江戸時代後期の文久2年に遡ります。屋根を貫いて一本柱を建て、そこに人形を飾る形式です。平成18年度に屋根の修理を行い、鉄骨鉄板葺きから木造布張りに葺き替えられました。春秋の祭礼で引き回されますのでご覧ください。「阿蘇神社の神輿」は建造物の項で紹介した宮大工小林藤馬の手によるものです。豪華な飾り金具が目を引きまします。建立当時の木割帳（設計図）が現存しており、地域の文化を理解する上で大変貴重な資料です。

羽村市指定無形民俗文化財は「羽村の祭りばやし」が指定されています。現在、市内6団体がそれぞれの地域で祭りばやしを保存伝承しており、その総体として指定しています。春秋の祭礼はもちろん、夏まつりや産業祭でもその演奏を聞くことができます。

今年の「市内文化財防火デー」は、文化財防火デーの翌日である1月27日（日）に宗禪寺において寺院関係者、福生消防署、地元消防団等の協力により実施されます。

●問合せ 郷土博物館

小・中学校の行事予定 1月～3月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●羽村東小学校
1月25日（金）～26日（土）
学校公開・校内書写展 ●羽村西小学校
1月23日（水）
道徳授業地区公開講座
1月21日（月）～28日（月）
校内書写展
2月29日（金）、3月3日（月）・4日（火）
特別授業公開
3月16日（日）
羽村西小金管バンド部定期演奏会 ●富士見小学校
1月25日（金）～26日（土）
学校公開・書写展
1月26日（土）
道徳授業地区公開講座
2月22日（金）
金管・ラストコンサート（ゆとろぎ）
2月29日（金）
ひな祭りコンサート（体育館） ●栄小学校
1月15日（火）～18日（金） 書写展 | <ul style="list-style-type: none"> 2月1日（金）
羽村市教育研究指定校研究発表会
2月15日（金）
栄小日記（学校説明会）
2月23日（土） あこがれ夢広場 ●松林小学校
1月21日（月）～22日（火） 書写展
3月3日（月）
さくらコンサート（体育館） ●小作台小学校
1月25日（金） 学校公開・書写展
2月14日（木）
道徳授業地区公開講座 ●武蔵野小学校
1月19日（土）
学校公開・校内書写展 ●羽村第一中学校
3月23日（日）
吹奏楽部定期演奏会（ゆとろぎ） ●羽村第二中学校
1月15日（火）～18日（金） | <ul style="list-style-type: none"> 公開授業週間
2月12日（火）～15日（金）
公開授業週間
3月3日（月）～8日（土）
公開授業週間
3月8日（土） 第36回音楽会
※会場がゆとろぎ大ホールのため、
座席は学年ごとの入れ替え制を予定
しております。ご来館の際にはご一
報ください。 ●羽村第三中学校
2月18日（月）～22日（金）
学校公開週間・作品展
3月7日（金）
合唱コンクール（ゆとろぎ） ●全体
2月2日（土）～3日（日）
羽村市小学校書写展（ゆとろぎ）
2月6日（水）
西多摩中学校教育研究会（ゆとろぎ）
2月20日（水）
羽村市教育研究会（ゆとろぎ） |
|--|--|--|

図書館ボランティア「本棚」
が表彰されました

長年にわたりボランティア活動に尽力され、市民の福祉増進に貢献している団体として、「羽村市社協福祉大会」において表彰されました。

●問合せ 図書館



麻しん風しんの予防接種は
お済ですか？

平成20年4月に小学校入学を予定されているお子さんは、麻しん風しん混合ワクチン接種の第2期の対象です。費用は平成20年3月31日まで無料ですので、未接種の方は、早めに医療機関で接種を受けてください。詳しくは保健センター（042-555-1111）へお問合せください。

●問合せ 教育総務課



INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel.570-0707	羽村東小学校	Tel.554-5663	小作台小学校	Tel.554-1431
図書館	Tel.554-2280	羽村西小学校	Tel.554-2034	武蔵野小学校	Tel.555-6904
郷土博物館	Tel.558-2561	富士見小学校	Tel.554-6449	羽村第一中学校	Tel.554-2012
スポーツセンター	Tel.555-0033	栄小学校	Tel.554-2024	羽村第二中学校	Tel.554-2041
スイミングセンター	Tel.579-3210	松林小学校	Tel.554-7800	羽村第三中学校	Tel.555-5131
弓道場	Tel.555-9255				

教育随想

新年に向けて

羽村は地理的にみると自然豊かな関東平野の西に位置し、奥多摩から流れ出る多摩川の水は年間を通して枯れることがなく、堤の桜や街路樹に至るまで市民の憩いを誘ってくれる。人工建造物の多い都心と比べると遥かに人間らしく生活することが出来る町と思う。そこで学び成長する子供たちが豊富な自然からたくさんのお話を学び素直な心をもって巣立って欲しいと願うのが親である。

戦後60年近代国家を目指して成長してきた国は見事に立ち直ったが、あまりの進歩の早さについて行けず組織も人の心も歪んできてはいないだろうか。若い人はこれからの人生をどのように組み立てるか、親子でじっくり考えて新年のスタートをさせていきたい。

教育委員 志田保夫

